

# 熊事研会報

平成25年10月22日発行 第112号

<http://sakura1.higo.ed.jp/ws/jimukenws/>

発行者 熊本県学校事務研究協議会会長 藤川 英一

編集代表 事務局長 上田 千浩

〒860-0001 熊本市中央区千葉城町5-2

T e l 096-353-6417

F a x 096-353-6421

## 主な記事

- ・ 研究部長あいさつ
- ・ 県事務研大会の最終案内
- ・ 全事研実行委員会視察報告
- ・ 九州各県事務研究会役員研修会



## 活発な論議と実践交流を！

### 第39回熊本県学校事務研究大会

10月に入り、今夏の猛暑に比べやや過ごしやすい時期となってまいりました。会員の皆様におかれましては、行事の多い2学期でもあり、ご多忙な日々をお過ごしのことと思います。

本年度、研究部では、共同実施の現状を把握し、これまでの5年間を検証するために、会員の皆様を対象にアンケート調査を実施いたしました。その結果を元に、現在の課題を明確にするとともに、それをふまえた上でのこれからの共同実施の目指すべき姿を研究しています。今大会では、調査結果の報告及び研究部の考えるこれからの共同実施について提案していきます。皆様のこれからの実践に少しでも参考になればと考えております。

さて、第39回熊本県学校事務研究大会は、平成25年10月23日(水)～24日(木)に開催いたします。現在、大会に向け準備も大詰めを迎えております。特に分科会発表をしていただく5地区におかれましては、発表に向け準備にご苦労されていますことに感謝いたします。事務局、研究部もそれぞれの立場で県大会の成功に向けて精一杯取り組んで参ります。

すでにお配りしています開催要項にありますように、1日目の全体研究会第1部では、熊本県教育委員会からの行政説明をしていただきます。第2部では、佐賀県事務研究会、大分県佐伯西学校事務センター、宮崎県五ヶ瀬町学校支援室の方による「共同実施の展望」についてのパネルディスカッションを行います。この全体会で、現在の共同実施の課題や問題点を認識し、これからの取組の方向を考えるきっかけになればと考えています。2日目は、例年通り各地区の実践発表をもとに論議を行う分科会となります。今年度も第4分科会は「ステップアップ講座」を開催します。年に1回県下の事務職員が集う貴重な機会です。それぞれの実践を出し合い、討議の柱について活発な論議を交わされることを期待しております。そのことが日頃の取組に生かされることを期待しています。

役員一同、参加された皆様が満足していただけるよう精一杯準備をしていきます。より多くの皆様に参加していただき、大会テーマ「変革の時代に対応する学校事務ーこどもの豊かな育ちを支援する学校事務ー」に迫れる大会にしたいと願っています。

熊本県学校事務研究協議会 研究部長 内田貴博

# 第39回熊本県学校事務研究大会最終ご案内



## 全体研究会の概要

会場 市民会館崇城大学ホール

### 第1部 「行政説明」

熊本県教育委員会 学校人事課 主幹 井手 正直 様

### 第2部 パネルディスカッション「共同実施の現状と展望」

パネリスト

佐賀市立城南中学校統括事務長 佐賀県教委東部教育事務所副所長 古川 治 氏  
大分県佐伯西学校事務センター 所長 甲斐 浩一氏  
宮崎県五ヶ瀬町立三カ所小学校事務主査 五ヶ瀬町学校支援室長 福川 安博氏  
コーディネーター 熊本県学校事務研究協議会 研究部長 内田 貴博

## 分科会の概要

### 第1分科会 学校経営と学校事務 **分科会場：市民会館大会議室**

- 1 「 みんなで四郎よ！上天草市 」  
～事務職員の研修と市教委との連携について～
- 2 「 未来を拓く共同実施 」  
～足下を見つめて～

助言者 五ヶ瀬町立三カ所小学校事務主査 五ヶ瀬町学校支援室長 福川 安博 様

### 第2分科会 教育条件整備 **分科会場：国際交流会館6階**

- 1 「 子どもが学びやすく心地よい教育環境をどうつくっていくか 」  
～後輩につなごう学校整備の視点～
- 2 「 事務室から環境を考える 」  
～環境を考えることから始めること～

助言者 上天草市立阿村小学校長 水田 学 様

### 第3分科会 事務改善 **分科会場：パレア9階大ホール**

- 1 「 正しい新採の育て方、ようこそ山鹿市事務研へ 」  
～めまぐるしい変化に対応し、みんなで一緒にステップアップ～
- 2 「 業務日誌をつけてみよう 」  
～誰でも！簡単に！楽しく仕事を進めるヒント～

助言者 元熊本県学校事務研究協議会会長 川上 安生 様

### 第4分科会 研究部 **分科会場：パレア8階大会議室**

実践講座 「 ステップアップ講座 」～コーチングを学ぼう～  
パーティープロ取締役社長 上畠 榮一 様



## 全事研石川大会視察報告

石川県で開催された第45回全国公立小中学校事務研究大会（石川大会）に参加した全事研熊本大会実行委員会分科会発表部 福永 高嗣さんの視察報告です。

# 全事研石川大会に参加して

全事研熊本大会実行委員会分科会発表部  
人吉市立第二中学校 福永 高嗣

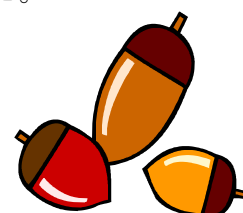
6日から熊本を出発し、大阪を經由して石川県金沢市に行ってきました。金沢の町は、戦火を逃れた経緯から、江戸時代からの街並みが残った歴史情緒ある所で、同じ城下町である熊本市に似た街でした。また、タクシーの運転手さん曰く、「加賀百万石は、百万石どころではなかったんです。今もなお、お金持ちが多い町ですよ。」ということからか、開会式で、挨拶をされた知事さんをはじめ、石川の方は、たいへん大らかでやさしく、余裕ある雰囲気を感じました。日本中がこのようなことを節に願うと本気で思ったところです。

さて、本年度研究大会は、全事研の第7次研究中期計画の最終年度にあたる年で、特集テーマを「学校経営ビジョンの実現と学校経営戦略」として行われました。※「学校経営ビジョン」を熊事研的に言えば、「学校教育目標」になります。

1日目、全事研本部より、学校経営戦略を推進する事務職員の役割、キャリア形成在り方、地区学校事務室の展開、その具現化のための研修、制度などの研究概要説明があった後、2日目、分科会で各地区から研究成果が発表されました。

中でも、新潟県では、「統括事務主幹職の設置」「事務職員の標準的職務通知」「新潟県学校事務共同実施要綱の改正」が4月に施行され、事務職員の役割が明確化し、より地域に根ざした共同実施への進化が始まっています。また、栃木県では、「とちぎ学校事務ビジョン」とその実効策である「栃木チャレンジプラン」の取組により、県教委より「採用前研修の制度化」「共同実施推進モデル」が提示され、採用前研修では事務職員が講師を行ったり、共同実施推進モデルでは、「事務処理の効率化」「教員の事務処理の軽減化」「学校経営ビジョンの参画」について示されているなど、全事研や文部科学省が推進する学校事務に近づく先進的な地区もあり、平成10年の中教審の提案から始まったことが、少しずつ現実になってきています。

現在、熊本県では、諸手当の専決等に限定した共同実施ですが、全国の流れを見ると、形は違っても似通った流れがやってくるのは必然かもしれません。それに向け、覚悟と準備が改めて必要だなと感じる研修となりました。



# 九州各県事務研究会役員研修会報告

9月6日（金）水前寺共済会館において、九州各県事務研究会役員研修会が行われました。本会は今年で16回目となり、九州地区学校事務の発展のための情報交換と研鑽の場として継承されている会です。

今回は、

- 各県の取組みと研究課題、研究大会日程及び現状報告について
- 当面する共通課題について
  - ・コミュニティースクールの導入状況と学校事務職員の関わりについて
  - ・共同実施の導入状況
  - ・事務長制の導入状況
  - ・学校事務職員に係る任用制度のあり方について

○九州地区内研究会の今後のあり方

○第47回全国公立小中学校研究大会熊本大会について  
を議題とし、各県からの報告と活発な意見交換がなされました。

熊事研からは会長、副会長、事務局長、研究部長をはじめ、全事研熊本大会実行委員長、研究部員及び事務局員も出席させていただきました。

全国でご活躍の先生方の生の声や隣県の学校事務の現状のお話しの、自分自身が不勉強なためすぐに理解できない文言が頭上を飛び交い、？マークをたくさん抱えて緊張しながら参加させていただいておりますが、2回3回と参加するうちに、とてもたくさんの刺激をいただくことができました。そして各県の学校事務の基盤を築いてこられた先生方が【もっと学校事務を良くしたい！】という熱い思いで、今もご尽力されていることに、とても感銘を受けました。

また、第47回全事研熊本大会において九州各県からの分科会発表や参加体制のご協力に改めて賛同いただき、本県の「お・も・て・な・し」に向けた大きな活力になったことと思います。

時間が足りないまま研修会は一旦終了し、引き続いた夜の部懇親会ではさらに賑わいもヒートアップし、盛会のうちに閉会しました。（事務局I）

## 編集後記

今号は予定発行日より大幅に遅れ、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

先日、イプシロン打ち上げを見に行き、とても感動しました。と同時に何も無いところから作り上げるということの難しさを痛感したところがございます。

いよいよ平成25年度の熊本県学校事務研究大会が開催されます。講演や各分科会でもそれぞれの先生方が創り上げてこられた素晴らしい内容が準備されています。

多くの方のご来場をお待ちしております。（U）

あれ台風だ、やれ運動会だといひ、早くに頂戴した原稿を寝かしておりますうちに、本日の配信・配布となりました。人吉一中時代当時の校長が口を酸っぱくして繰り返した（『早き良し、遅き悪し、丁度良き危うし』じゃっでな。）は、当に私の為の言葉と。（本日の最後の仕事が玄関に出たマムシ退治だったK）

